



秋の季節に多くみられる、「さば雲」
(1階正面玄関入口横で撮影)

他に秋の雲と言えば、「うろこ雲」「いわし雲」
「ひつじ雲」があります。これらは低気圧や
前線が近づいているときに現れやすく、雨が
近づいていることがわかるようです。



病院機能評価の審査に合格しました

庶務課企画係

病院機能評価は、「病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組み」です。中立・公平な立場にある評価調査者が、所定評価項目に沿って病院の活動状況を評価します。

当院では今年の2月（新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ開始後まもない時期）に審査を受け、一般病院2（200床以上の病院対象）、精神科領域、緩和ケア領域の3つの部門で審査に合格し、認定を受けることができました。

この結果に甘んじることなく、今後とも地域に根差し、皆さまに安心・安全、信頼と納得の得られる医療サービスを効率的に提供すべく、さらに日々努力してまいります。



日本医療機能評価機構
一般病院2認定証

～大規模災害訓練のお知らせ～

豊島病院は東京都災害拠点病院に指定されています。
令和2年10月7日（水）午後2時頃から、東京湾北部地震（M7.3）を想定した「大規模災害訓練」を板橋消防署や板橋看護専門学校と協力して行います。
皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。



豊島病院 予約センター 03-5375-5489（紹介予約制）

予約受付時間 平日9時00分～19時00分 土曜日9時00分～12時00分

「合同火災訓練」を実施しました

豊島病院では、看護師・防災センター・事務職員が連携して火災訓練に取り組んでいます。
今年は、7月31日（金）に合同火災訓練を実施しました。

定期的に火災訓練を実施しています

当院では毎年合同火災訓練を施行しております。
今年度は、5B病棟（整形外科病棟）から出火した想定で訓練を実施いたしました。

訓練終了後は関係者が集まり、検討会を開催し、問題点や改善点の有無などを確認し、日頃の防火対策・消火活動に生かします。



防災センター職員による
消火栓の確認



訓練後の院内検討会の様子

火災発生時の対応

火災発生放送の後、まず看護師が初期消火、避難誘導を実施します。

また、防災センター職員も火元である病棟に向かい消火活動を行います。
病棟での消火活動、避難誘導と並行して、自衛消防本部を設置して病院長や事務職員等の本部要員を招集し、被害状況の確認や情報収集を行います。

消防隊到着後、速やかに消火・避難活動を引き継いでいただくためには自衛消防隊本部が火災状況と活動内容を把握しておくことが極めて重要です。

病院で火災が発生した際は、自主避難できない患者さんもいるため、非常に危険です。消火器、消火栓、防火扉など、被害を抑える設備を、有事の際にしっかりと使えるよう、皆さまを安全に避難誘導できるよう、訓練を重ねていきたいと考えています。

皆さまにおかれましては、当院のルールをお守りいただき、火災防止に引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



病室での消火活動を行う看護師



患者さんを安全な場所へ搬送

お見舞いメールを利用してみませんか

当院では入院されている患者さんへ、お見舞いメールを受け付けております。特に現在はコロナ禍の影響で、感染対策のため面会禁止となっております。こういう状況で、入院されている方は不安を感じていらっしゃると思います。そこでご家族・ご友人の方へ励ましのメールを送られてはいかがでしょうか？いただいたメールは右写真（見本）のように台紙に内容を印刷して、患者さんへお渡ししています。

詳しくは、当院ホームページのご利用案内の「お見舞い・面会のご案内」をご覧ください。 <http://www.toshima-hp.jp>

